

ホームラン

ニュース

春季大会特集号

発行：船橋市野球協会少年学童部

責任者：理事長 山田宣昭

編集：広報部

www.funabashi-gakudou-baseball.jp/
https://twitter.com/kouhou_funagaku

第42回船橋市春季市民野球大会 閉幕

Aリーグ 海神スパローズ16年ぶり3回目の優勝

Bリーグ 夏見台アタックス2年連続5回目の優勝

「船橋市春季市民大会少年学童の部」は、Aリーグが3月31日に、Bリーグが4月8日に開幕し、雨の影響もなく順調に試合が消化されました。5月5日晴天の船橋市運動公園野球場で行われた決勝戦の模様をお伝えします。



Aリーグの決勝戦は、海神スパローズ対夏見台アタックス。昨年の春季大会Bリーグ決勝戦と同じ顔合わせとなりました。海神スパローズの先攻で定刻通り試合開始。1回表、先頭の菅原君がヒットで出塁、2番菊田君の絶妙なセーフティバントでノーアウト1.3塁となり、3番松川君の内野ゴロの間に1点先制。1回裏、夏見台アタックスの攻撃は、3番の横山君がヒットで出塁するも無得点。次に試合が動いたのは5回表。この回先頭の清水君が粘って四球。9番今野君の送りバントを

アタックスのピッチャー横山君の好プレーで2塁アウトとされるも相手の守備の乱れから1,3塁とし、2番の菊田君のセーフティスクイズで貴重な追加点を取りました。最終回、夏見台アタックスの攻撃は、打順良く1番椎木君からでしたが、得点できず試合終了。試合時間1時間15分と引き締まった投手戦となり、少ないチャンスをものにした海神スパローズの勝利、とてもいい試合でした。



Aリーグ 海神スパローズ 完封V



★★★今大会のベスト4チームのキャプテンと監督推薦の選手から「今大会を振り返り」コメントをもらいました。★★★

海神スパローズ キャプテン 松川和真



海神スパローズ 菅原奏人



僕たちは、4年生の低学年大会、ロッテ旗大会、5年生の春季大会と学童トーナメント3大会で準優勝でしたが、今回、初めて優勝することができました。僕たちが4年生の時に決めた目標は、6年生の春季大会を優勝し県大会も優勝して、『全国大会へ行く』です。その目標をかなえるために、日々の練習やサーキットトレーニングなどの厳しい練習をマイナス発言せずに、チームみんなで頑張ってきました。いろいろな練習で鍛えた体力や技術などが、今回の大会で発揮できたと思います。優勝できた理由は、もう一つあります。それは、両親が支えてくれたり、監督・コーチが指導してくれたり、海スパの先輩後輩、OBなどのたくさんの方々が応援してくれたからだと思います。船橋市での大会優勝は、全国大会への通過点です。県大会を優勝して目標を達成したいと思います。

僕たちは六年生になり、三度目の市民球場での決勝戦でやっと優勝できました。初戦はみんなガチガチに緊張していて、エラーが多くなってしまいました。けれどもなんとか踏ん張り、逆転勝ちをすることができました。二回戦以降は緊張がほぐれ、無駄なランナーをださないことを心がけて投げました。そしていよいよ決勝戦。この日も緊張せずにいつも通りの準備ができました。プレイボールになりました。初回、ぼくのヒットから先制点を取ることができました。ピッチングでは、ストライクを入れることだけを考えて思い切り投げました。バックもナイスプレーで助けてくれたので、テンポ良く投げることができましたと思います。夏見台アタックスには、去年負けていたので今年こそは絶対に勝つという気持ちで戦いました。だから、最後のアウトを取った時は「よっしゃー！」と声のでるくらいうれしかったです。



3位・習志野台ワンパクス



準優勝・夏見台アタックス



3位・習志野台赤トンボ



A リーグ 準優勝・夏見台アタックス

夏見台アタックス キャプテン 横山 匠太

夏見台アタックス 椎木 颯五

夏見台アタックスの目標は全国大会で優勝することでした。

そのために厳しい練習を重ねてきました。決勝戦の相手は昨年と同じ海神スパローズ。負けられない一戦でした。5年生が優勝した後の雰囲気が良い中で試合でしたが残念ながら練習の成果がはつきりできなくて完封負け。市の準優勝となりとても良かったです。春季大会で心に残った試合は2試合あり、一つ目は準々決勝の若松ヤングス戦です。点を取られて逆点、同点に追いつかれて勝ち越し。という、きんぱくした試合でした。二つ目は準決勝の習志野台ワンパンズ戦です。最終回まで2-0で負けていましたが同点に追いついてサヨナラタイムリーで勝つことができました。本当にうれしかったです。この2試合とも最後まであきらめてはいけないということを学びました。春季大会の最後の日まで戦えたこと、2年連続で決勝に行けたこと忘れません。もう全国大会は行けないけど次の目標に向けて練習していきたいです。最後に、いつも応援してくれてサポートしてくれるお母さんに感謝です。これからも頑張りたいと思います。

ぼくが、春季大会で頑張ったことや、思ったことは、春季大会という大会のために毎朝練習をして、春季大会で勝ちたい、優勝したいという気持ちで頑張ってきました。その中でも、色々な試練や困難があったけど、仲間やコーチが頑張ってくれたから、決勝戦という場所にいられたのだと思います。特に準決勝のワンパンズとの対戦が一番うれしくて、一番苦労した試合だと思います。最終回1番から始まって、そこからみんなの力や思いが重なって、勝てた試合だと思います。春季大会で勝つ、優勝するという目標はなくなってしまったけれど、また新しい目標に向かっていって、その目標を達成したいと思います。最後の決勝戦は悔しかったけれども、色々学べた試合だとも思います。これからもっともっと強くなって、決勝で負けた海神スパローズにリベンジできるように頑張りたいです。最後に、毎朝早くからおにぎりを作ってくれたお母さんと、休みの時に野球を教えてくれたお父さんに感謝しかありません。ありがとうございました。

A リーグ 3 位・習志野台赤トンボ

習志野台赤トンボ キャプテン 川畑 陽平

習志野台赤トンボ 水元 悠斗

春季大会が終わった。今大会で僕が一番心に残っているのは、2回戦の習志野サンデーズ戦だ。赤トンボが先攻。初回、一番打者がアウトとなり二番打者が出塁。三番打者もアウトになり二死二塁。ここで帰ってきたのが僕だった。先制点がほしい場面だったので、絶対に打ってやろうと思っていた。甘く入ったボールをとらえ、打球はセンターへ。先制点を取ることができた。裏の攻撃、すぐ同点に追いつかれてしまった。そこからは最終回まで、両者一步も譲らず、0点が続く投手戦となった。そして、ついにサドンデス。ぼくは内心これを一番恐れていた。一死満塁からのスタートとなる。赤トンボの攻撃、打席に入ったバッターは緊張していたが、とても冷静だった。ファールボールを選び、押し出しで1点を追加した。これで2対1。サンデーズの攻撃、強いピッチャーライナーを素早くキャッチし、三塁へ送球、アウト。僕たちは勝利した。試合後、母の顔を見たら三才老けていた。ドキドキの連続でどっと疲れたようだった。僕たちはこの後、準決勝で敗退してしまった。とても悔しかった。この悔しさを県大会ではらしたいと思う。

今回の春季大会の中でぼくが印象に残り頑張った試合は、2回戦目のサンデーズ戦です。春季大会が始まる前に、最後の全国につながる大会なので絶対優勝してやるという気持ちでした。初回の攻撃で、ぼくがヒットを打ったあと仲間もつないでくれて1点目のホームを踏みました。守備では、先発ピッチャーで4イニング投げました。初回にヒットを打たれて1点を入れられてしまったけど、その後は良いピッチングができて0点に抑えることができました。5回から最終回まではお互いに0点で、サドンデスとなりました。サドンデス1回表に仲間がフォアボールを選んで押し出しで1点が入りました。1回裏は0点におさえ勝つことができました。ぼくは、こんな僅差な試合で緊張はしたけど勝てたので勇気ができました。準々決勝のFTJ戦は7対2で勝ち、準決勝の海神スパローズ戦は0対7で負けてしまいました。この悔しさを、今後の試合や千葉日報杯にぶつけていきたいです。最後にこの赤トンボの仲間と戦う試合も残りわずかなので、チーム一丸となって優勝目指して頑張りたいです。

A リーグ 3 位・習志野台ワンパクズ

習志野台ワンパクズ キャプテン 五十嵐 幹

習志野台ワンパクズ 菊池 真碧

僕たちは新人戦一回戦で敗れ、とても悔しい思いをしました。その悔しさをむねに、春季大会の目標を、「県大会出場！」

に決めてこの半年間練習にはげんできました。春季大会では、一試合一試合を大切にチーム一丸となって戦っていいと思いました。ぼくはセンターを守っていて、なかなかみんなに声が届かないけど、全力で声を出してみんなを盛り上げていいという気持ちで試合にのぞみました。準決勝で敗れ、結果は3位で県大会出場を決めました。目標を達成できたことはすごくうれしかったけど、ここまできたら決勝にいき、優勝したかったです。この悔しさを、千葉日報杯にぶつけていきたいです。「千葉日報杯優勝！」を新しい目標にして、練習を積み重ねていきたいです。誰よりも声をだし、チームを引っ張っていきます。

僕たち習志野台ワンパクズは先輩たちが数々の大会で優秀な成績を納めてきたので、僕たちもそれに恥じないように昨年に開催された新人戦で優勝を目指していました。しかし、1回戦で逆転負けしてしまい、とても悔しい思いをしました。今回の春季大会ではベスト4を目標にみんな厳しい練習に耐えてきました。その成果が出てエラーが少なかったり、バントをキッチリ決めたり、少ないチャンスでヒットを重ねて得点する事が出来ました。僕も1番バッターとしてヒットを打ちチャンスを作ったり、ピッチャーとしてフォアボールをあまり出さず、チームに貢献出来ました。残念ながら準決勝ではサヨナラ負けで決勝に進めませんでしたが、当初目標のベスト4を達成出来ました。僕たち6年生はたった5人しかいないので、後輩たちにたくさん助けてもらいました。また、監督はじめ指導者の方々に熱心に教えて頂き勝つ事が出来ました。ありがとうございました。夏季大会では優勝目指してチーム一丸で頑張ります。

Bリーグの決勝戦は夏見台アタックスの攻撃で9時に試合開始。1回表の夏見台アタックスは、1番井上君が絶妙なセフティーバンドで出塁するも無得点。1回裏、西海ドラゴンズの攻撃は、2番の長島君がヒットで出塁。続く篠宮君が四球の後、高村君の送りバントで2アウト2、3塁とし岩井君がセンター前にクリーンヒットで2者が生還し2点先制。3回表、夏見台アタックスは、1アウト2.3塁とチャンスを作るも、いい当たりのショートライナーでダブルプレーとなり無得点に終わります。試合が動いたのは、4回表1アウトから4番釜本君のヒットから。

2アウト2塁し6番前島君のライトへのタイムリーヒットで1点を返します。5回が終わって2-1と緊迫した投手戦の中、夏見台アタックスが6回表1アウト3塁から内野ゴロの間に同点に追いつき7回表にも1アウト3塁から、内野ゴロの間に得点し勝ち越します。最終回西海ドラゴンズも、2アウトから粘りを見せ9番渡辺君、続く成瀬君が四球を選ぶも最後は内野ゴロで試合終了。両チームとも堅い守備と投手の頑張りで緊迫した1点を争う見応えのある好ゲームでした。



Bリーグ 夏見台アタックス 2年連続V

夏見台アタックス キャプテン 井上 舜也

今年の1月に僕は右足をはくり骨折しました。骨折で3月終わり頃まで練習すら出来なくて、いきなりAの大会から始まり、Bの大会になりました。怪我で練習できなかったけど、キャプテンとして声を出してチームを盛り上げる、1番バッターとして出塁してチームに弾みをつける、野手として全て確実にアウトにしてピッチャーを助けたい、と思って試合をしました。チーム皆が頑張りで優勝できて本当に嬉しいです。今回の大会で気付いたことがあります。それは、応援の力が大きいという事です。僕たちは決勝戦で初回到2点を取られてしまい、回が進んでいくごとにチームに焦りが出てしまいました。4回に1アウトからランナーが出て、内野ゴロで2アウト2塁になり、ヒットで1点を取りました。5回にランナーが出たけど点が入らず、悪い雰囲気の流れてしまいましたが、6年生が来て応援が始まったら、雰囲気が変わり6回に同点に追いつき、7回に逆転して優勝する事ができました。これからも応援の力を大切に頑張りたいと思います。



Bリーグ 準優勝・西海ドラゴンズ

西海ドラゴンズ キャプテン 篠宮 湊太郎

僕たちは昨年の低学年大会では準々決勝敗退だったので、チームの目標はベスト4でした。大会が始まってみるとどのチームも強くて、特に準々決勝と準決勝は接戦だったけれど仲間を信じてプレーして4試合を勝ち抜きました。

決勝は運動公園野球場で、チームのみんながたくさん応援に来てくれてとてもうれしかったです。試合は先制した2点のリードを守り切れず逆転負けでしたが、とても楽しく試合ができました。次の大会も決勝まで残ってまたこのグラウンドで試合をしたいと思いました。優勝した夏見台アタックスには県大会で優勝できるようにがんばって欲しいです。僕たちは東武鉄道杯で船橋の代表としてがんばります。



Bリーグ

表彰式の様子



Bリーグ 3位・習志野台赤トンボ

習志野台赤トンボ キャプテン 宮武 凜人



Bリーグ 3位・習志野台ワパックス

習志野台ワパックス キャプテン 武内 鴻樹

僕は、春季大会優勝を目標に練習してきました。結果は、Aリーグ・Bリーグともに準決勝で敗退と言う結果になりました。まだまだ、技術の面でも気持ちの面でも足りないことが一杯あることに気がきました。この悔しさを絶対に忘れずに、雨の日も暑い

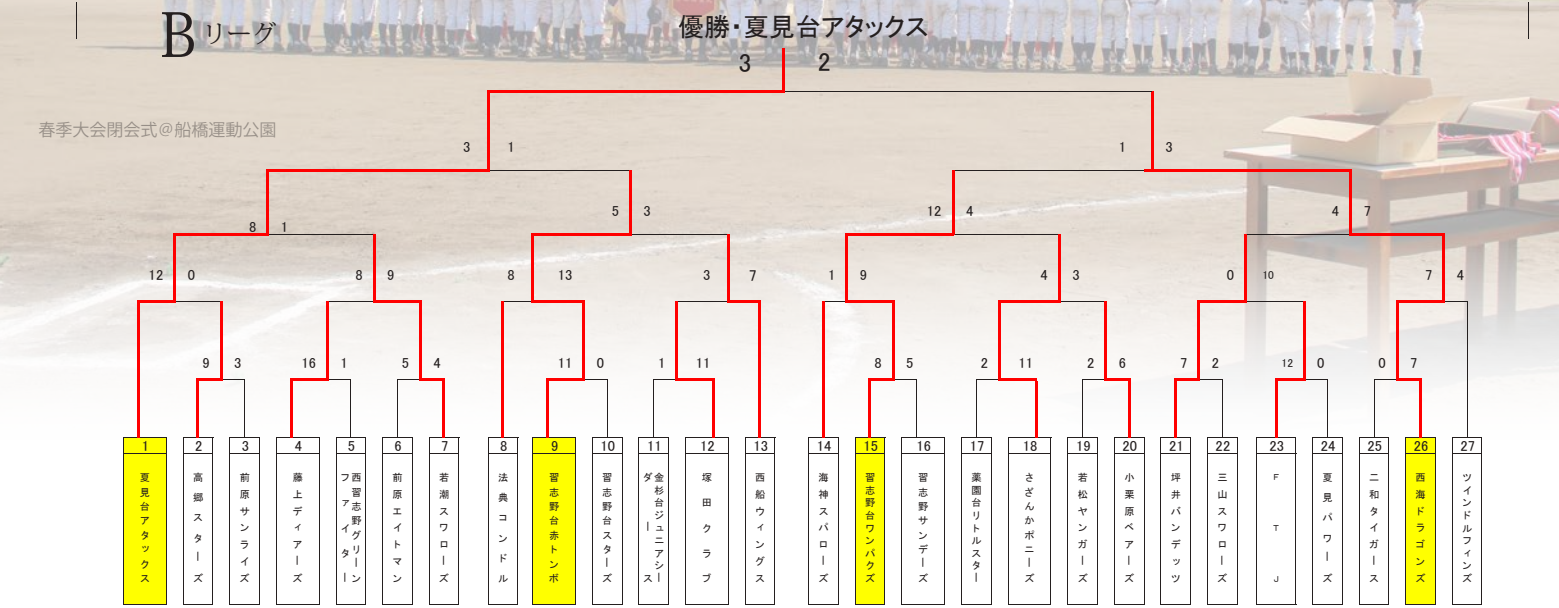
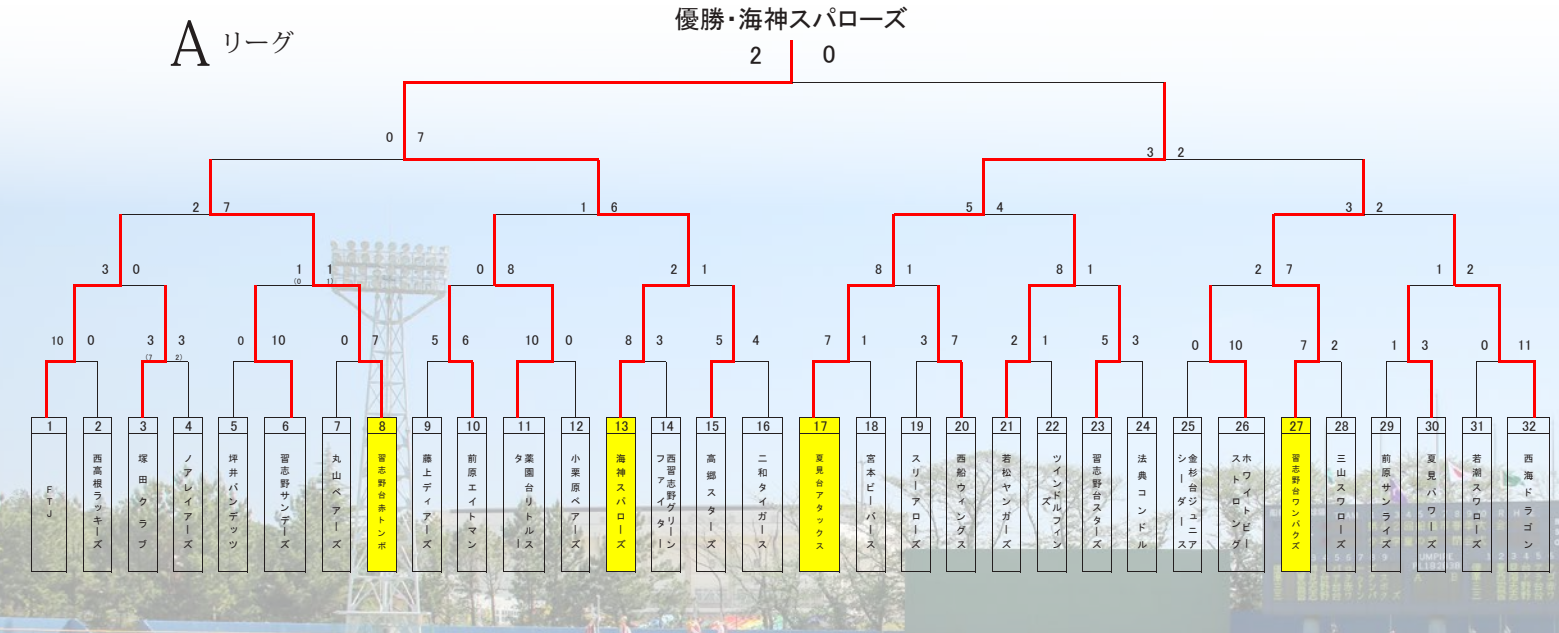
日も寒い日も僕達を指導・応援頂ける代表・監督・OBコーチ・両親に感謝し、もっともっと練習して自分のやるべき役割をしっかりと果たし、次の日報杯・東武鉄道杯、そして船橋市夏季・秋季大会は絶対に優勝します。

この春季大会で習志野台赤トンボは優勝するために一生懸命練習に取り組みましたが、3位という結果でした。負けた理由は、エラーが得点につながってしまったからです。だから、次の新人大会ではエラーがないようにチーム全員で守備練習を必死に取り組みたいと思っています。でも僕たちがここまで頑張れたのは、やはりコーチ達のおかげだと思っています。よくコーチに怒られましたが、それはみんなが野球を上手くなつてほしいからなので、僕たちも必死にやらなければいけないと思いました。だからコーチ達にはとても感謝しています。春季大会は準決勝で負けて僕もみんなもとても悔しかったですが、東武鉄道杯に出場できることは良かったです。そして次の新人大会では絶対優勝するために、これからの練習や試合では、みんなの心をひとつにしてのぞめるよう、主将として頑張っていきます！

3 位・習志野台ワンパクス



3 位・習志野台赤トンボ



- 全日本学童野球千葉県大会出場

 - 海神スパローズ
- 関東学童野球千葉県大会出場

 - 葉園台リトルスター
- 千葉日報杯大会出場

 - 海神スパローズ
 - 習志野台ワンパクス
 - 夏見台アタックス
 - 習志野台赤トンボ
- 日ハム旗大会出場

 - 夏見台アタックス
- 東武鉄道杯出場

 - 西海ドラゴンズ
 - 習志野台赤トンボ
 - 習志野台ワンパクス
 - 若潮スワローズ

今大会のAリーグ上位4チーム(優勝・準優勝・三位)には、例年ご後援いただいている「船橋翼ライオンズクラブ」様からメダルと「船橋市小中学校体育連盟野球専門部」様から賞状とトロフィーをいただきました。

第 5 回千葉県少年野球女子大会

- 船橋女子選抜 -



5月12日、南房総市千倉町総合運動場において千葉県下の各地域から12チームが参加し「第5回 千葉県少年野球女子大会」開会式が開催されました。

船橋女子選抜の一回戦は、北総地域のなでしこチャームING戦でした。先制されたあと、同点、追加点と白熱したシーソーゲームとなりましたが、同点の最終回に3点取られたあと、2点返すも1点届かず惜しくも負けてしまいました。

秋にも県大会があります。次は優勝しましょう！



選抜選手名簿

	氏名	所属チーム		氏名	所属チーム
10	入内嶋 愛花	ノアレイアーズ	11	樋口 葉南	若松ヤングース
1	伊藤 杏彩	ツインドルフィンズ	12	藤崎 璃心	丸山ベアーズ
2	中山 美希	ノアレイアーズ	13	青山 愛	前原エイトマン
3	森下 美咲	ノアレイアーズ	14	井上 里紗	前原エイトマン
4	山崎 璃海	前原エイトマン	15	坂元 朱里	前原エイトマン
5	川端 沙菜	四街道ブルースター	16	西村 衣央奈	前原エイトマン
6	赤井 梨音	ノアレイアーズ	17	古川 愛華	ノアレイアーズ
7	小沼 和	本埜ジャガーズ	18	栗原 美月	ノアレイアーズ
8	小川 寧々	ノアレイアーズ	19	杉上 あかり	田喜野井ファイトース
9	篠原 桃	ノアレイアーズ	20	田村 小春	田喜野井ファイトース

小さな球児達 16 チームが熱戦

- 第 20 回 船橋学童部 友遊ボール大会 -

初夏のような日差しの下、4月28日「第20回船橋学童部友遊ボール大会」が開催されました。

今年は県大会出場を目指して戦う5チームと、投げて打って走るといった野球の楽しさを親子で楽しむ目的の11チーム、計16チームが参加。3つのグループに分かれリーグ戦で熱戦を繰り広げました。

野球が初めてのお友達や、普段は応援席で子供達を支えるお母さん達と一緒にプレーを楽しみ、大きな歓声があちこちのグラウンドから聞こえてきました。



毎年恒例 みんなのフェスティバル！

- 第 51 回船橋市少年少女交歓大会 -

船橋市内で青少年活動を行う団体が一同に会し、毎年大勢の人が来場する船橋市少年少女交歓大会が5月13日（日）、船橋市運動公園で開催されました。

今にも雨粒が落ちてきそうなどんよりとした曇り空の下での開催となりましたが、そんなお天気も吹き飛ばすように子供達は元氣いっぱい。仲間とともにイベントに参加したり、ゲームを楽しむ姿が見られました。

年に一度のフェスティバル！チームでの参加は、子供達にとって良い思い出の1ページになったことでしょう。

